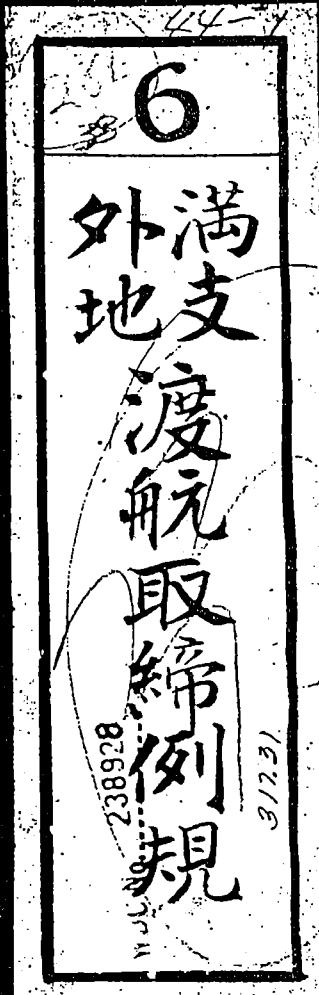


昭和十六年

滿支渡航取締例規

國立公文書館	
分類	(通關)
排架番號	3 A
	15
	44-1



國立公文書館	
分類	
配架番号	16
	44-1

昭和十五年五月二十二日、警保局外發甲第三五號

三昭和十五年五月二十七日、警保局外發甲第四一號

青少年風入制限令ノ適用ヲ受クベキ者ノ渡支取締方ノ件

昭和十五年六月一日、警保局外發甲第四四號

渡支邦人暫定處理ニ關スル件

昭和十五年八月十三日、警保局外發甲第七二號

渡支邦由證明書様式改正方ニ關スル件

昭和十五年九月十六日、警保局外發甲第七九號

渡支邦人暫定處理ニ關スル件

昭和十五年十二月二十三日、警保局外發甲第一一五號

渡支邦人暫定處理ニ關スル證明書様式ニ關スル件

參

渡支邦人暫定處理ニ關スル件（昭和十五年五月七日閣議決定）

從來渡支者ニ對スル身分證明書ノ發給ニ關シテハ昭和十二年八月三

十一日附米三機密合第三七七六號外務大臣發各地方長官相依金銀庫

「不良分子ノ渡支取締方ニ關スル件」ニ依リ取扱おきトモ通本人ノ

素性、經歷、平素ノ行動等ニ致シ渡支後不正行為ヲ爲ス虞ナキヤ否、

ヤチ考慮ノ上其ノ虞ナキ者ニ限り右證明書ヲ發給シツワリシ事務

制度實施以來各年十二月末迄ニ於ケル本邦人渡支者ノ延人數ハ五十

九萬人ニ達スル状態ナリ一方現地ニ於ケル國系通貨（銀券、軍票

等）ノ廢用著シク之方價維持ノ必要上極力是等國系通貨ノ氾濫ヲ

防止スルノ措置ヲ講ズルハ喫緊ノ要務ナル處此種通貨ノ氾濫ヲ防止

行シ現地ニ於テ國系通貨ヲ放出ズル次第ニテ其ノ額ハ一ヶ年加減ホ

一億圓ノ巨額ニ達スル實情ナルニモ鑑ニ此方面ヨリスル轉渡禁止

警備上防止スルコトモ亦當ダガ開港場等ノ港埠ノ警備上

警備上

中ニハ其ノ渡支ノ目的確由等ニ關ニ必ズアリ主邊ノ如キ現地ノ監視シタル實情ヲ無視シテ迄渡支セシム必ズ必要ナキ者多々有之モノト認メラルルノミナラズ觀察ノ懇問等ニ藉口スル不要不急ノ旅行客亦甚カラザル現状ナルニ付テヘ渡支身分證明書ノ發給ニ當リテハ獨リ警察上ノ取締ニ止マラズ現地ノ實情上睨ミ合セ在支圓系通貨放出制限ノ見地ヨリ不必要ト認メラル邦人ノ渡支ハ極力制限スルコト遵切要要ナリ。

仍テ今後ハ從來ニ於ケル不良分子ノ取締ノ外概木別紙ノ取扱方針ヲモ併セ實施シ不要不急ノ目的ニ出ツル支那渡航ヲ禁止シ以テ覇策ノ緊急性ニ即應スルコトト致度。

「別紙」

取扱方針

一般ニ觀察ヲ目的トスル支那渡航ハ當分ノ間之ヲ禁止スルコトトシ其ノ他特ニ支那渡航ヲ要スルモ人ニ對シテハ左記ニ該當スル場合ニ

限り所轄警察署長ニ於テ身分證明書ヲ發給シ渡航セシムルモノトス外地ニ於テモ本方針ニ準シ措置スルモノトス
本方針ハ支那現地ノ事態ノ許スニ到リタルトキハ速ニ之ヲ緩和スルモノトス

記

一、慰問（演劇又ハ演藝ニ依ル慰問ヲ含ム）ノ爲渡支セントスル者ヘ團体ヲ含ムニ就テハ豫め陸海軍省ノ承認ヲ得タルモノ
二、家眷用務ヲ爲一時渡支セントスル者ニ就テハ在支關係者ノ所轄領事館警察署ノ證印ヲ押捺セル文書ヲ有スルモノ
三、商取引ノ爲一時旅行セントスル者ニ就テハ在支關係會社・商店又ハ取引先ノ所轄領事館警察署ノ證印ヲ押捺セル文書ヲ有スルモノ
四、定住又ハ現地勤務ヲ爲渡支セントスル者ニ就テハ行先地所轄領事館警察署ノ證印ヲ押捺セル文書ヲ有スルモノ又ハ在支陸海軍ノ發給シタル車輛タルシ身分證明書（呼寄證明書ヲ含ム）ヲ有スル者

取扱要領

一、日本内地及外地ヨリ視察の目的トスルモノヲ非不ノ未特ニ者ヲ准
備ナシスル一般打人（朝鮮人、滿洲籍民ヲ含ム）ニ對シテハ左記
主該當スル場合ニ限り居住地所轄警察署長ニ於テ第一建議云ノ渡
支身分證明書ヲ發給ス

滿洲國在留者一時本邦ニ歸國シ支那ヲ經由密滿セントアルナキ亦
可

術監間ノ獨證文セントスル者ハ陸軍關係ニ在リテハ聯隊區司令部
又ハ師団司令部（陸軍部）ニ經由シ陸軍省憲兵部、海軍關係ニ
在リテハ鐵道、郵政部又ハ地方海軍入港部ヲ經由シ海軍省軍
務局第四課三名出頭シ其ノ承認ヲ受ケ統江號機式ニ依ル證明書
ヲ下附セラレタル者

（向近親者ノ禁後及妻女等ニ已ムヲ得サル場合は及本邦在學中ノ丈
弟在住者ノ子女等申件取手利用シ該處ニ駐ク者等定事用事ノ度
不時滿支那之公使及外交關係等ノ外事關係者等

い在支那孫金社商店又ハ取引先トノ間ニ同資ニ商行爲存シ又ハ
眞偽ナル商繁造出者ニシテ渡文セザルハ既ニ過済シ難ニ事情
古九萬取引入場合ニ於テ在支所舊領事館署發給ノ證明書ヲ

所持スル者

但シ漢文假名書等輸地域三亘リ航行セントスル者ハ其ノ一
領事館署發給ノ證明書ヲ所持スルヲ以テ足ル
牛水久治ニ支那ニ居住シ及格的該籍トヨハ導道ト云以不一般
實務ニ從事又ハ在支西社ニ勤務スル者及其之家族一兩段關係ニ
アル時因テ家規使用人手合ムニシテ行先地所轄領事館署察
署發給ノ證明書ヲ所持スル者

現地宣ソ授用二便以車馬又ハ肩輿人ニシテ隨員ニ在リテハ在支
派遣高等司令部ニ就キ該軍事署發給ノ證明書ヲ所持スル者

現地軍事附屬セラルル軍屬又ハ軍械備大ニシテ陸海軍省ニ於テ
採用セテハ陸軍省ニ在リテハ第四總機式、海軍省ニ在リテハ第

五總機式江依ル證明書ヲ發給セラシタル者
例現地勤務ノ軍屬又ハ軍械備大ノ家族呼寄ニヨリ渡文セントスル
者ニシテ所屬部隊長^{又ハ軍械備大}給^付家庭呼寄許可書ヲ所持スル者
用從軍備、從軍神官、從軍記者、從軍畫家等ノ從軍者ニシテ陸海
軍省ノ發給スル從軍免許證ヲ所持スル者
(例)家族ノ死亡、急病其ノ他之ニ準々ハ半要急ノ際ニシテ所轄領事
館署發給ノ證明書ノ下附ヲ受クル暇ナク眞ニ已ム手得ガル
者

國政治、經濟、文化的見地ヨリ事變處理ニ直接且積極的ニ關係す
心靈二科本獎學院又ハ外語學三科之輔導官職上級者

ラル與駐院ヨリハ第六號様式、外務省ヨリハ第七號様式

證明書ノ發給ヲ受ケタル者

(4) 一時歸國中テ在支邦人又ハ新規渡支者ニ與ヘラルタル在支帝國領事館交給ノ證明書ニ其ノ同伴者トシテ明記セラレタル者但シ婚姻ノ爲一時歸國シタル者ノ身分證明書ニ一婚姻ノ爲歸國スル」の旨記載アリタルトキハ配偶者ノ氏名、年齢等ノ明記アルヲ要セズ

(5) 本邦ニ於テ婦女（藝妓、酌婦、女給等）雇入ノ爲一時歸國シタル在支接客營業者ニ對シ與ヘラレタル在支帝國領事館證明書發給ノ證明書ニ雇入員數チ明記セル場合其ノ員數ニ相當ナル被繪
方各領事令、旅店入税制限
婦少正門人制限令レ適用ヲ受ケル者ニシテ雇傭セラルヲ渡支ゼントスル者ニ對シ渡支身分證明書ヲ發給セントスル場合ニ於テヘ前項ノ證明書ノ他ニ其ノ雇傭者ニ與ヘラル第八號様式ニ依ル地圖又ハ職業紹介所長發給ノ證明書ヲ必要トス

三、左記各號ニ該當スル渡支者ニ對シテハ警察署長渡支身分證明書ヲ發給予要セズ

(1) 公務ノ爲派遣セラルル官公吏（日系及招聘官公吏子含ム）其ク他ノ者及現地赴任ノ官吏ノ家族使用人ニシテ永住ノ目的ヲ以テ官吏ノ任地ニ赴ク場合派遣官廳（公吏ニ對シテハ縣府縣長官）
外國公使、領事等所長

二、於テ設治セル第九號様式ニ依ル身分證明書ヲ所持スル者

(2) 現役又ハ召集中ノ帝國軍人軍屬ニシテ制服ヲ着用スル者
(3) 現役又ハ召集中ノ帝國軍人軍屬制服以外ノ略服ヲ着用スル者ニシテ陸軍ニ在リテハ第一〇號様式ニ依ル所屬隊長、海軍ニ在リテハ第一一號様式ニ依ル所屬廳長ノ發給スル身分證明書ヲ所持スル者

(4) 帝國政府設治ノ麥那波就旅樂ヘ臺灣婦民ニ對シ設治スル渡支證明書ヲ含ム一チ所持スル者

（5）本邦國中ノ列停者ニシテ十五才未滿ノ者

（6）本邦國中ノ在支邦人ニシテ在支帝國領事館發給ノ證明書ヲ所持

海軍省組シ一時關中國大薦再進支那經由鑑ノ有效期御了

江外公使ヲ驗ク

四 證察鑑授ハ渡支身分證明書發給ニ關シテハ手數料ヲ徵收セザルモノトス

五 證察署長渡支身分證明書下附ノ出願アリタルトキノ寫二箇様式ニ依ル願書ヲ徵シ本人ノ身分、職業、渡航目的、期間、關係文書等ヲ調査シ左ノ通り取扱フベシ

(1) 痕性、經歷、平素ノ行動等不良ニシテ渡支後不正行為ヲ爲スノ成アル者ニ對シテハ渡支身分證明書ヲ發給セザルコト

(2) 關係軍事官廳發給ニ係ル文書未有スル者ニ關シ詐欺ノ方法ヲ以テ文書ノ交付ヲ受ケタル疑アリ又ハ身分關係ニ疑惑アリ其ノ他

特三阻止ヲ要スル場合ハ本省ニ稟請々上其ノ措置ヲ決スルコト

(3) 取扱要領ニノリニ該當不ル者ニ對シ渡支身分證明書ヲ發給ゼン下スルトキハ之ヲ置スルニ足ル資料等ヲ慎重検査ノ上決スルコト

(2) 渡航ヲ阻止シタル場合ハ克ク渡航制限ノ趣旨ヲ徹底セシムルコト
付保釋中ノ者、刑ノ執行猶豫中ノ者、刑ノ執行停止中ノ者、假出獄中ノ者、其ノ他裁判一簣審又ハ公判一簣種中ニシテ身柄不拘束ノ者等渡支チ出願シタル場合ハ最メ所轄檢事局ト打合ノ上許否ヲ決定スルコト

(3) 關係軍事官廳ニ於テ發給シタル證明書及其ノ他参考書類ハ許否決定ト同時ニ返戻スルコト

(4) 陸海軍省ノ許可ヲ受ケタル從軍者及興亞院又ハ外務省ノ渡支承認書ノ下附ヲ受ケタル者ニ對シ渡支身分證明書ノ發給ヲ拒否シタルトキハ速ニ其ノ理由ヲ附シ本省ニ報告スルコト
付取扱要領ニ依ル第八號様式證明書所持者ニ對シ身分證明書ノ發給ヲ拒否シタル場合ハ之ヲ發給シタル事務官又ハ取扱係法

(5) 年令二十歳以上三十年未滿ノ男子及年令十二年以上二十年未滿ノ女若者又ハ三十歳未滿場合ハ一青少年層入制限令ニ依河開係法

各ノ適用ノ有無ニ關シ調査ヲ爲スコト

(イ) 取扱要領一ノ分ニ該當スル在支接客營業者リ本邦ニ於テ雇入レタル婦女ニ對シ渡支身分證明書ヲ與ヘントスル場合ハ各警察署

毎ニ營業者ノ所持スル在支領事館警察署發給ノ證明書ニ其ノ發給セシ員數ヲ記入シ署印ヲ押捺ズルコト

取扱要領一ノ川但書ニ該當スル配偶者ニ對シ渡支身分證明書ヲ與ヘントスル場合ハ婚姻ノ爲一時跨國シタル者ノ所持スル在支領事館警察署發給ノ證明書ニ配偶者ノ氏名・年令ヲ記載シ署印ヲ押捺スルコト

(四) 十五才未滿ノ同伴者ハ之ヲ世帶主其他ノ引卒者ノ渡支身分證明書ニ併記シ寫眞ハ之ヲ省略スルコト

(五) 國体軍・官廳國僕・職員證明書ノ發給スルコト

様式ニ依ル國体渡支身分證明書ヲ發給スルコト

(六) 渡支身分證明書再下附ノ出願アリタル場合ハ其ニ發給シタル警察署ニ願人ノ寫眞ヲ添附照會ノ上事實疊相違ナキトキニ限り再

下附ヲ爲スコト

(ガ) 一時歸國中ノ在支邦人等テ在支帝國領事館發給ノ證明書ヲ所持スル者再渡支前證明書ノ有效期間ヲ經過シタル爲證明ヲ出願シタルトキハ其ノ遲延ニ付正當ノ理由アル場合ニ限り居所又ハ出發港（航空機ノ出發地ヲ含ム）所轄警察署長ハ其ノ所持スル在支帝國領事館發給ノ證明書ニ與書證明ヲ爲スコト

六 出發港又ハ航空機ノ出發地所轄警察署長ハ正規ノ手續ニ依ラズ又ハ一時歸國者ニシテ證明書ノ有效期間ヲ失シタル者ヲ發見シタルトキハ乘船又ハ塔乗ヲ阻止スルコト

證明書ノ發給手續ニ瑕疵アリト認メラルル場合ハ重大ナル支障ナキ限り之ヲ發給シタル關係方面ニ通報シ注意ヲ喚起スルニ止メ其ノ乘船又ハ塔乗ヲ阻止セザルコト

七 警察署長イ發給セル渡支身分證明書ニ關シテハ第一四號様式ニ依リ毎月末日現在ヲ以テ調査シ翌月十日迄上本省ニ報告ノコト

第一種機式

日本國

證文身分證明書

海員

本籍

現住所

職業
農業

一、支那人渡航チ必要トスル

期日
年月日

右證明ス
年月日

警察署長官

氏

名

生年月名日

第十一號様式(海軍省ノ分)

身 分 證 明 書

官 氏

年月日生

右ハ

ノ爲渡支スルモノナリ

右證明ス
昭和年月日

廳長氏

名團

第十二號様式

寫 真

渡支身分證明書下附頃

一、本籍

二、現住所

三、職業

四、氏名及別名

五、兵役關係

六、支那ニ渡航ヲ必要トスル目的理由

七、渡航之經路及行先地

八、期間、自昭和年月日至昭和年月日

九、關係官廳發給證明書

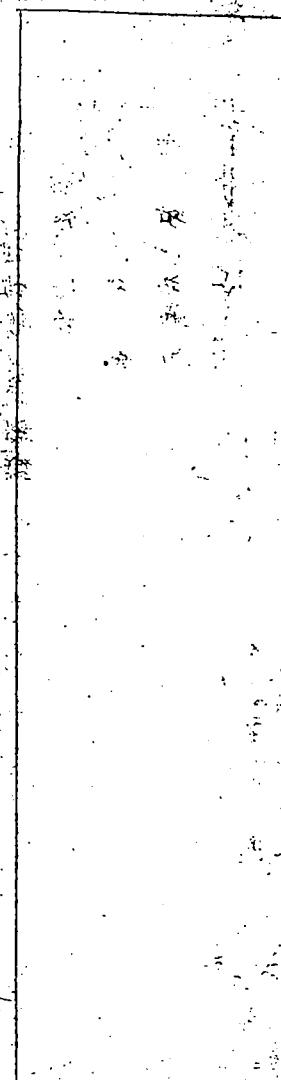
年月日生

一九一九年十一月八日
右之通商招邊無之銀銅渡支身分證明書發給相成度此段及御
國候也

昭和二年三月八日

右 氏名 印

警察署長 殿



第十三圖樣式

團體旅支證明書

署印 別章責任者

本籍

現住所

氏名 年月日生

番號

住本

所籍

職業

又八別名

氏

名

年月日令

右一行 名願聞ノ目的ナ以テ外務省又ハ興亞院ノ承認ニ甲ニ昭
和二年三月八日間ノ于定ニテ

三